

第19回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

委員会の検討経緯と論点

- これまでの検討経緯
- 今回の論点

平成31年2月27日

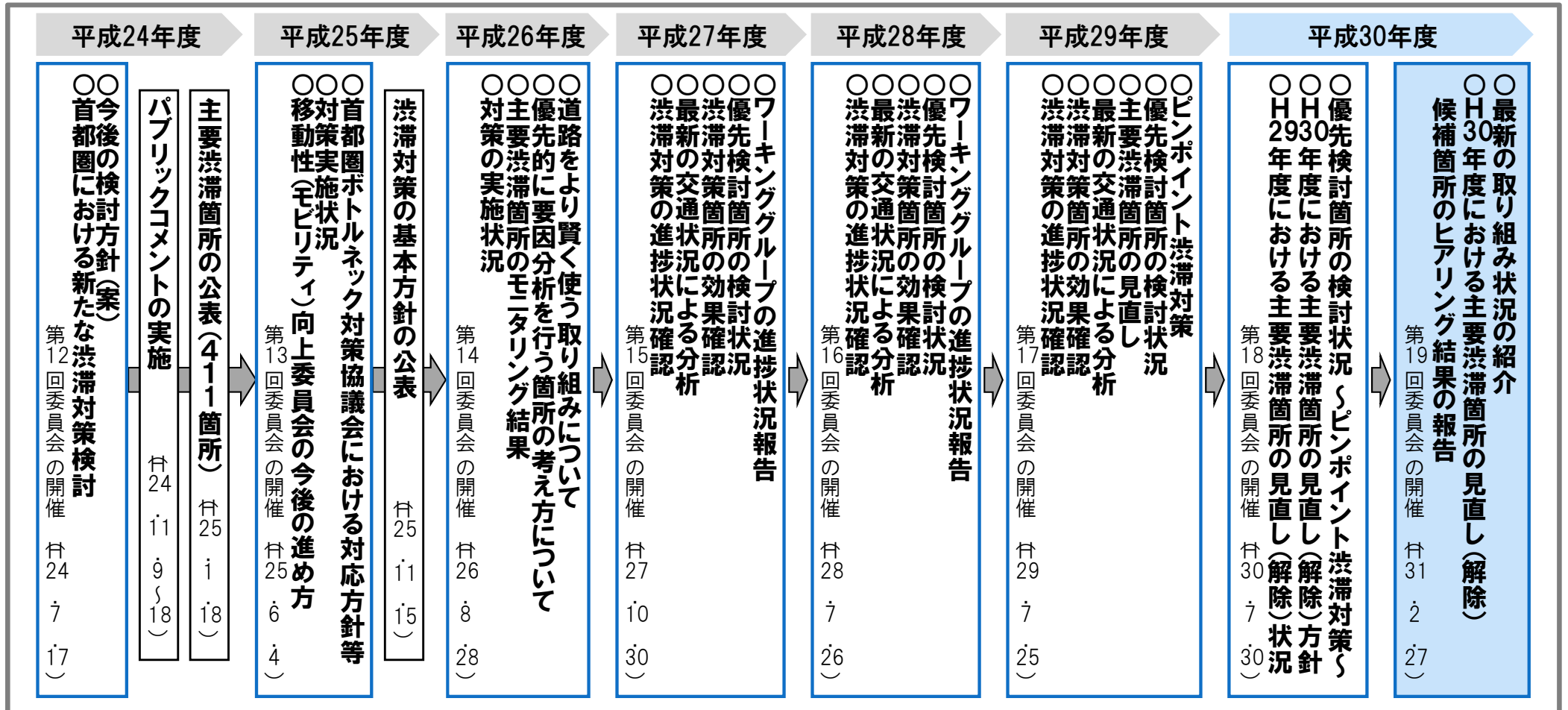
1 委員会の検討経緯と論点

1-1 これまでの検討経緯

【渋滞対策の方針】

- 「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細データが容易に取得可能となるなど、観測環境における大きな改善等を踏まえ、課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組むこととした

【これまでの取り組みの流れ】



1 委員会の検討経緯と論点

1-2 今回の論点

○これまでの取り組みを踏まえて、以下の点について意見交換を実施していただきたい。

【議論していただく内容】

- 👉 平成30年度における主要渋滞箇所の見直し(解除)について (資料2)
 - ・主要渋滞箇所のモニタリング結果に基づく見直し(解除)候補箇所の関係機関へのヒアリング結果
 - ・ヒアリング結果に基づく見直し

【今回報告する内容】

- 👉 最新の取り組み状況の紹介 (資料3)
 - ・久里浜田浦線の整備効果
 - ・国道1号藤沢BP出口交差点の整備効果
 - ・国道16号追浜交差点の渋滞状況 等